

C50SAB001

リーフスキマーL

この度はリーフスキマーLをご購入頂きありがとうございます。
ご使用前に本書をよく読み、注意事項をお守りご使用下さい。
また、本書は大切に保管しておいて下さい。
万一不具合、不明な点がございましたら、下記までお問合せ下さい。

取扱説明書に記載する表示について

本書には安全に関する重大な内容を表記してあります。
表示と意味は以下のようになっております。



警告

警告事項を守らない場合には死亡や重傷に至る重大な事故を
起こすおそれがあります。

- 本製品は家庭用観賞池の機器です。違う目的での使用や、改造や分解をしないで下さい。
- ポンプ電源には必ず漏電ブレーカー（遮断器）とアースを取り付けてください。
- 設置前や清掃、メンテナンスの前には必ず電源を切ってください。
- 本製品や電源ケーブルに損傷がある場合は直ちに使用を中止してください。
- 池の水を飲用したり、人体に使用しないで下さい。
- 小さい子どもや動物がいたずらしないようご注意ください。



注意

注意事項を守らない場合には、怪我をしたり、製品が損傷する場合があります。

- 凍結時、または凍結が予想される場合には使用を中止して下さい。
- 常温（35℃まで）の淡水でご使用下さい。海水では使用しないで下さい。
- ポンプは、休止期間の冬季以外は24時間稼働するようにして下さい。
- 本製品には、水の殺菌機能は備わっていません。
- 本製品は対応できる池のサイズが決まっています、適用範囲内でご使用下さい。



循環用のポンプは付属していません。
本製品の使用中に池や周囲の動植物に被害が生じても
当社は責任を負いかねますので予めご了承下さい。

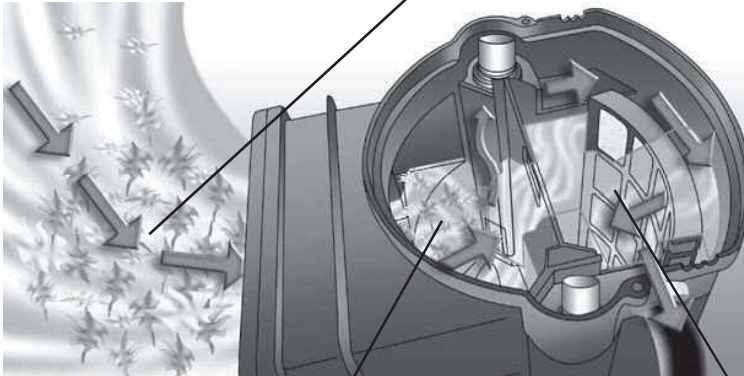
スキマーの仕組み、商品仕様



スキマーは水面に浮いている落ち葉などを集めるための機器です。水の浄化、殺菌機能は備わっていません。浮遊物の収集は自動で行われますが、完全に収集は出来る訳ではありません。また、定期的なメンテナンスやリーフバケットの清掃が必要です。

スキマーろ過

落葉などの浮遊物を沈殿する前に吸い取ります。



一次ろ過

大きなゴミを集めてポンプを保護します。

生物ろ過

目の細かいフィルターは不純物をろ過し、バクテリアの棲み処となり生物ろ過を促進します。

商品仕様

サイズ	H610×W598×D792
材質	ポリプロピレン
接続口径	30A～50A【調節可能】
耐荷重	113kg

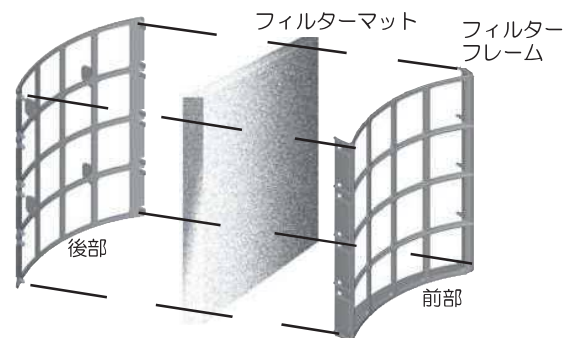
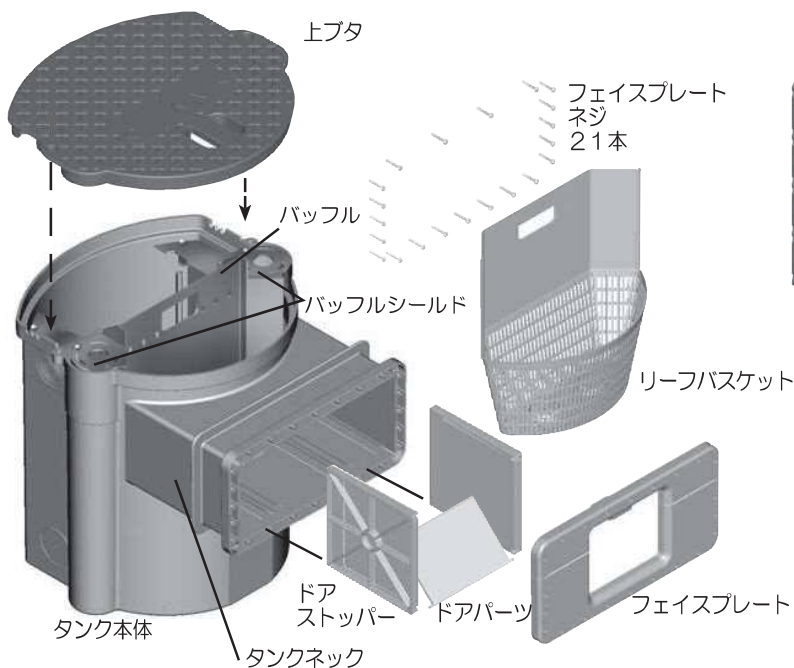
※商品の仕様は予告なしに変更する場合があります。

対応池サイズ

対応面積	表面積：約46㎡まで
対応容量	水量：約37t
推奨ポンプ	水量 113.6～315.5L/min

※池が大きい場合は複数取り付けすれば対応可能です。





各部の名称



梱包内容

施工する前に以下の部品が全て揃っているか確認して下さい。

スキマー

スキマー本体	フェイスプレート	ドアストッパー
1 個 	1 枚 	2 枚 
ドアパーツ	小袋 (ビス類)	
1 枚 	1 袋 ネジ: 21 本 レンチ: 1 本	

別途ご用意して
頂く必要のある物

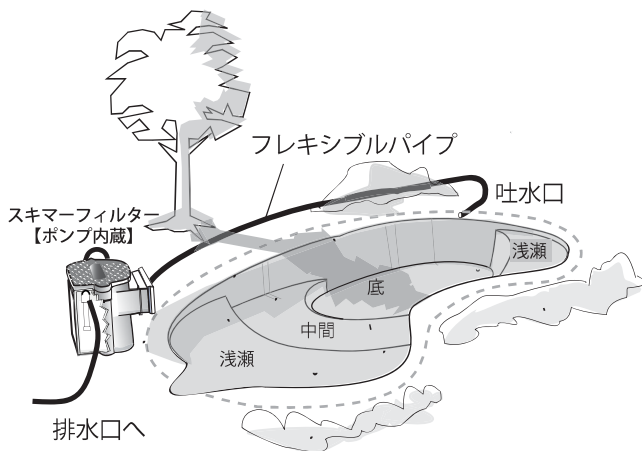
- 水中ポンプ
- 各種工具: 掘削工具、ホールソー、カッターナイフなど
- 排水用配管、バルブ、接続部材 (40A)
- 石、岩、砂利
- 砂、土 ・ 植栽

推奨 水中ポンプ	
品番	C40TC1300H
電圧	AC100V
電力	110W【50Hz】 150W【60Hz】
水量	189L/min【50Hz】 223L/min【60Hz】
揚程	3.6m【50Hz】 4.9m【60Hz】
コード長	10m

※商品の仕様は予告なしに変更する場合があります。

1. 設置の前に

- 1) スキマーフィルターを吐水口の反対側のメンテナンスしやすい場所に置きます。



- 2) スキマーの正面には岩石や植物を配置しないようにして下さい。スキマー本来の能力が損なわれます。
- 3) 吐水口は流れやすいような箇所に配置します。スキマーの正面に来るのが理想的です。水の流れがスムーズになります。
- 4) スキマーに水が流れやすいように通り道を作ると浮遊物を集めやすくなります。
- 5) スキマーフィルターは池の風下にある事で浮遊物の収集が効果的に出来ます。

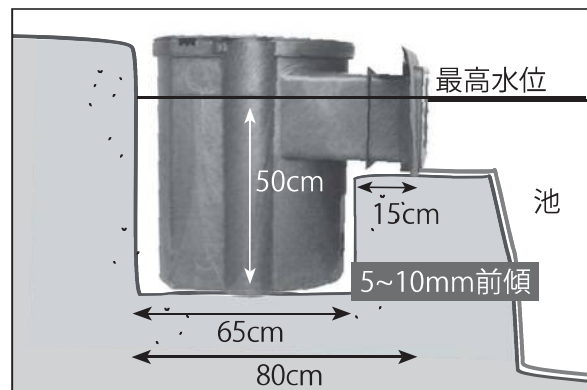
2. スキマー本体の設置

水位のチェック



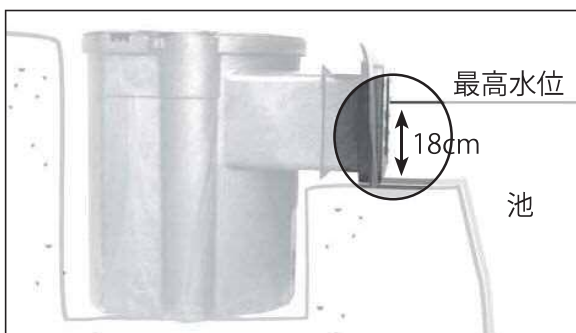
シートを敷き詰めた池に水を入れて、完成時に満水となる水位に線を引いて印を付けます。次の作業へ移る前に30センチ程度排水します。

本体埋設部分の掘削



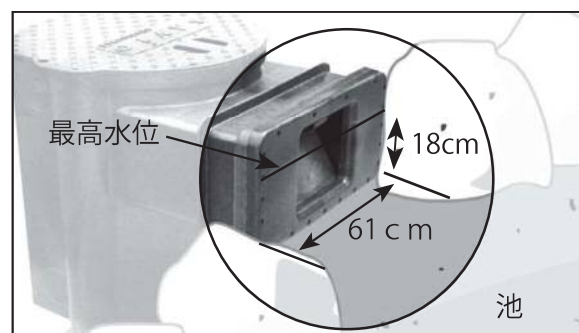
池の縁から15センチ下がった地点で直径65センチ、水面からスキマーの底部が50センチくらいの深さになるように掘ります。5~10ミリ程度前傾させると設置後にスキマー内の沈殿物がポンプに吸い込んでしまうのを抑制出来ます。

タンクネック部分①



ネック部分を掘ります。水位から深さ18センチ、幅61センチで池の縁に面する様に掘ります。掘削した面は平らにして、地固めをしっかりと行って下さい。深く掘過ぎたり、スキマーの接地面をデコボコにしたままにはしないで下さい。(上図はフェイスプレートを合わせたイメージです。)

タンクネック部分②

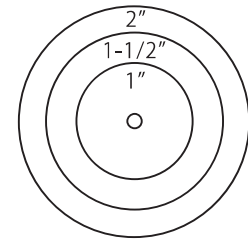


2. スキマー本体の設置

接続穴の開口

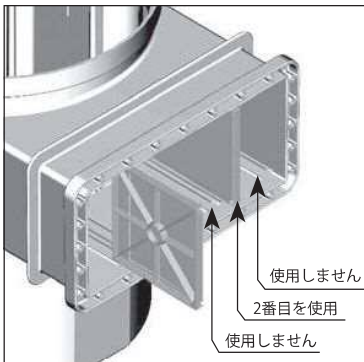


接続口をホールソーなどで開口します。スキマーの側面にあるガイドに合わせて、開けて下さい。吐水口につながる側と反対はオーバーフローの排水パイプを接続します。開口後はスキマー内に土が入らない様にテープなどで養生して下さい。



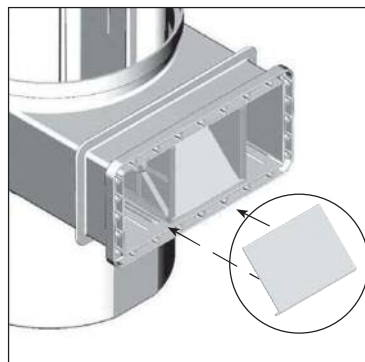
塩ビ管サイズ	穴の直径
1"	約32mm
1-1/2"	約48mm
2"	約60mm

ドアストッパー固定



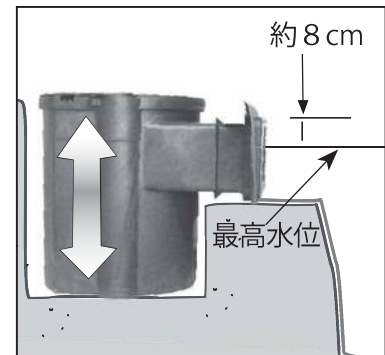
ドアストッパーを2番目の溝に差し込みます。

ドアパーツ固定



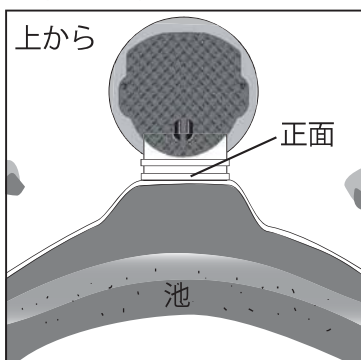
ドアパーツを差し込みます。突起が出ている部分を必ず下にして下さい。(上図参照)フェイスプレートは、まだ取付しません。

本体の設置



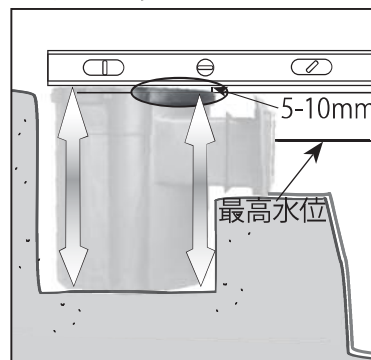
スキマーフィルターの本体を掘った穴に設置します。天端から8センチ下がった所が最高水位になるようにします。フェイスプレートを重ねると最高水位のラインが分かり易いです。

位置の確認



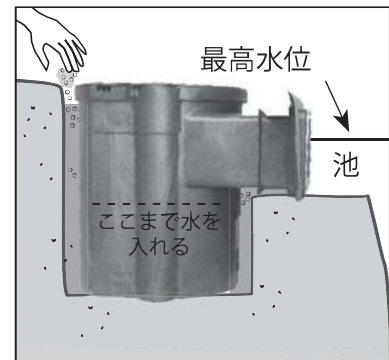
本体の吸水口が池の縁に来るか確かめて下さい。必要があれば設置位置を微調整します。

水位の確認



水平器を使って左右の傾きが無いか確認して下さい。前側が5-10ミリ程度、前傾をするようになるのが理想的です。(本体埋設部分の掘削参照)

埋戻し



スキマーの半分くらいまで水を入れて沈まないか？動かないか確認します。(上図参照)安定していたら山砂や玉砂利を少し湿らせ、埋戻しを行います。埋戻しは少しずつ地固めしながら行って下さい。固め過ぎに注意して下さい。

3. ポンドシートの加工

スキマーにシートを重ねます。



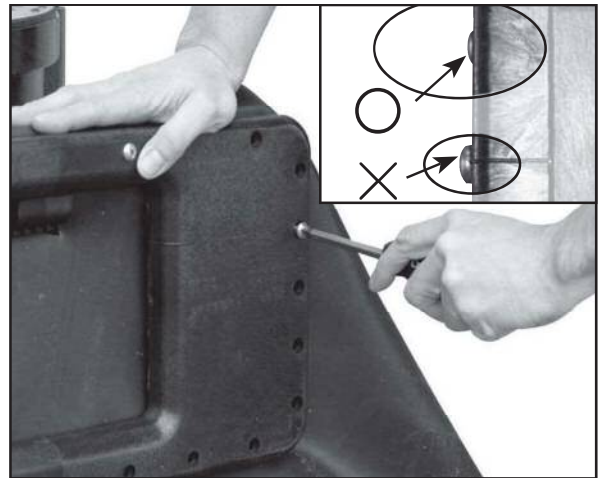
スキマーにポンドシートを重ねます。(上図参照)
接地面はシワや折り目が無い様に引っ張ります。
ポンドシート表面のゴミを拭き取り、キレイに
します。

ポンドシートの切り取り



フェイスプレートをしっかり固定した後に
カッターナイフでフェイスプレート内側の
余分なポンドシートをキレイに切り取ります。

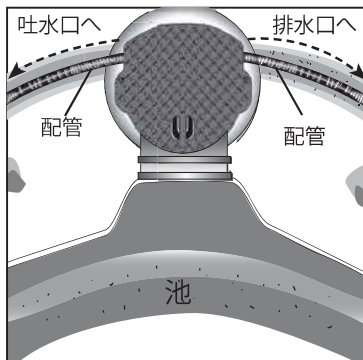
フェイスプレートの取り付け



フェイスプレートを重ねて、ネジをレンチで
締めていきます。四隅を半分程度締めてから
残りのネジを順番に締めていきます。
横から見てネジの頭が隠れるまで、締めて下さい。
電動工具は使用しないで下さい。
締めすぎにご注意下さい。

4. 配管埋設

配管埋設部の掘削



配管用の溝を掘ります。スキマーの開口部から
掘り進めていきます。パイプの埋設深さは
凍結防止のため25センチ程度確保する様に
して下さい。

配管埋設



配管用には水が逆流するのを防止する措置を取って
下さい。・配管に勾配を付けたり、バルブを付けて
下さい。

5. ポンプの接続 EcoX-1300Hを使用する場合

ポンプカバーの分解

- ◆ポンプの本体を右図、および別紙のポンプ取扱説明書を参考にカバーを取り外します。
モーター部分だけを使用します。
(外したカバーは使用しません。)

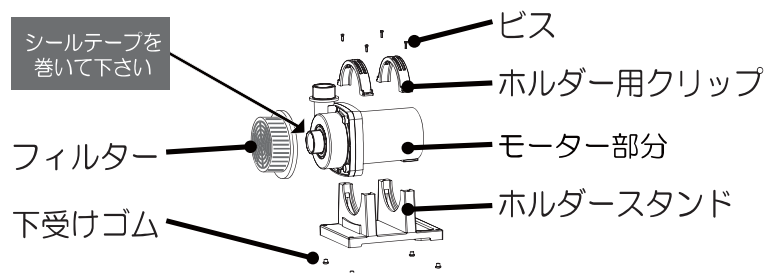


モーター部分

カバーの取り外し手順は別紙：ポンプの取扱説明書『6ページ』参照

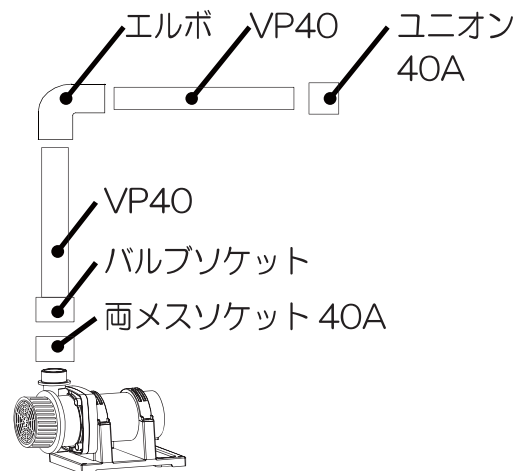
ポンプホルダーの組立

- ◆左図を参考に各部品を取り付けて下さい。フィルターを取り付けする部分にはシールテープ（別売）を巻いて下さい。



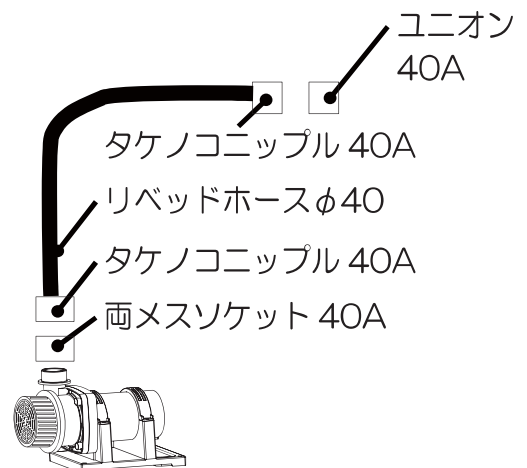
給水管（塩ビ管）接続の場合

- ◆右図を参考にパイプ部品とポンプを接続します。
パイプの長い方とポンプがつながります。
ネジ部分にはシールテープ（別売）を巻いて下さい。
ユニオン以降は外部の露出配管となります。
- ◆スキマーの中にポンプを入れて、開口した部分から40Aメネジに配管部材（別途）を接続します。



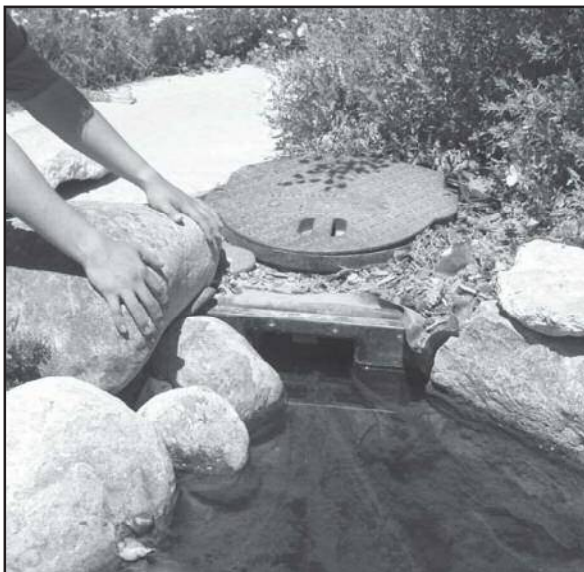
リベットホース接続の場合

- ◆右図を参考にパイプ部品とポンプを接続します。
パイプの長い方とポンプがつながります。
ネジ部分にはシールテープ（別売）を巻いて下さい。
ユニオン以降は外部の露出配管となります。
- ◆スキマーの中にポンプを入れて、開口した部分から40Aメネジに配管部材（別途）を接続します。



6. 仕上げ

スキマー周りの仕上げ



スキマーの開口周りなどの見えている部分の左右を岩などで覆って隠します。

タンクネック



タンクネック部分を隠すために底面が平らな岩などで覆い隠します。

メンテナンス

スキマーは定期的なメンテナンスが必要な商品です。以下の事は最低限実施するようにして下さい。

- 1) リーフバスケットのゴミは必要に応じて、取り除いて清掃するようにして下さい。
頻度は季節ごとに異なりますが落葉の多い秋は頻繁に確認して下さい。
- 2) フィルターマットは表面の汚れが目立つ様になったら、池の水で清掃して下さい。
上水などできれいにするとフィルター内に生息するバクテリアも損なわれてしまいます。

冬季の注意事項

池の水が凍結しやすくなる頃に、冬季の準備を行って下さい。

- 1) 池の水温が4℃以下になる冬季は使用しないで下さい。（目安：12月後半～3月上旬）
- 2) 水中ポンプは取り外して清掃し、室内に保管して下さい。
- 3) 配管内の水を排水して、凍結しない様にして下さい。配管深さの浅い部分は注意して下さい。
- 4) バルブを閉めて下さい。
- 5) フィルターマットを取り外して、キレイにして下さい。

— 庭にもっと快適を —

グローベン 株式会社

本社

〒455-0025 名古屋市港区本星崎町字南3998-31

TEL:052-829-0800 FAX:052-829-0801

Email info@globen.co.jp